

# 新製品・新技術紹介

## 株式会社ミマキエンジニアリング

ミマキエンジニアリングは「新しさと違い」を提供することを経営ビジョンとして掲げ、独自のインクジェットプリント技術とカッティング技術を駆使して革新的な製品を開発してきました。本年11月には、1,000万色を表現できる高精細のUV硬化インクジェット方式3Dプリンタの発売も予定しています。

こうした業務用インクジェットプリンタの市場は今後も成長が見込まれますが、技術革新のスピードは速く、同業種や周辺業種との競争に勝ち抜く技術力・開発力が必要になります。

当社もこれまで、研究開発設備の充実、人材の確保に努めてきましたが、本社内の研究開発拠点は手狭になり、新製品や新技術の開発の課題になっています。技術者には、研究開発に専念できる魅力的な環境を提供し、存分に能力を発揮して欲しいと思います。

こうした状況を踏まえ、当社では東御市鞍掛工業団地に所有する土地に、新たな研究開発拠点「イノベーションセンター（仮称）」を計画中です。東御市の優れた景観を活かし、研究開発の拠点だけでなく、スポーツ関連等の福利厚生施設も整備して、地域の活性化にも貢献できればと考えています。

デジタル印刷の更なる進展に合わせ、顧客志向の開発型企業としてイノベーター精神を継承しつつ、新たな成長ステージに向けて「真のグローバル企業を目指す」ための取り組みに今後も挑んでいきます。



## 株式会社みすず総合コンサルタント

1975年（昭和50年）、前身のみすず測量設計設立。道路や橋などの建設に関わる測量を主力とし、東信地域を中心に事業を展開してきました。公共工事の用地取得に必要な調査業務などを請け負う補償コンサルタントを85年に、道路や護岸の設計、行政機関へのアドバイスをする建設コンサルタントを89年に始め、96年に現社名に改称。東京、千葉、山梨など10都県に営業拠点を構えています。既存事業に加えて、社内では「挑戦」をキーワードに、新技術の導入にも積極的に取り組んでいます。2006年、当時国内では珍しかった3次元のレーザースキャナーを海外メーカーから導入し、トンネルや橋、ダムなど測量が難しい構造物、複雑な地形、寺社なども短時間で高精度に計測できるようになりました。業務の9割を占める公共工事関連業務は近年、件数が減少傾向にあります。先端技術の導入で業務に付加価値をつけるとともに、受注範囲の拡大をすることが課題です。今年4月にはドローンにレーザースキャナーを搭載し、上空から地形や障害物を読み取る「ドローン搭載型航空レーザー計測サービス」を始めました。従来の航空測量に比べて安価で短時間に測量できるメリットを活かしお客様に提案を進めています。

また公共事業を中心に受注する会社として地域から信頼を得ることに重きを置き、技術力だけでなく「人間力」を培う環境を整えています。地域の祭りやマラソン大会、鉄道の環境整備などのボランティア活動への積極的な関与をすることで、様々な方と触れ合い、見識を深められるようにしています。社内では毎朝の活力朝礼、月に1度、月刊誌「致知」を題材に社内木鶲クラブでお互いの考えを発表し合い、相互理解を深めています。技術力と人間力の両輪をバランス良く回転させ、地域インフラ維持に貢献できる企業であり続けるために、日々研鑽してまいります。

